

生徒一人一人が進んで学校生活づくりに参画し、  
協力して成し遂げようとする自主的、実践的な態度の育成

日立市立助川中学校

## 1 はじめに

本校では、特別活動の目標達成のために、二つに視点を置いて活動している。一つ目は、「全校生徒が生徒会活動に主体的に参加する態度を養うための生徒会活動の在り方」であり、二つ目は「常任委員会・中央委員会の連携を保ち、学級活動との連携を密にするための中央委員会の在り方」である。これらの二点を踏まえて、実践してきた事例を紹介する。

## 2 資料

### (1) 生徒会オリエンテーション

4月に行う1年生へ向けた生徒会オリエンテーションでは、生徒会役員が生徒会の組織や議案の討議までの流れを説明している。1年生の印象に残るような工夫を凝らしているのが特徴である。



### (2) 校則改定のアンケート

生徒がより良い生活を送るために、全校生徒を対象にMicrosoft Formsを活用して校則に関するアンケートを実施した。集計したアンケート結果を生徒会が確認し、どのように変更すれば生徒がより良く生活できるかを議論している。過去に、靴下の色の変更があり、今年度はインナーの色等の変更が議論されている。



### (3) 委員会からの学級への表彰や報告

生徒会広報誌「助川の星」や広報委員広報誌「飛翔」を定期的に発行している。生徒会活動への取組状況や、行事に対しての意気込みなどのコメントを掲載し、生徒一人一人の良さを全校生徒に広げている。また、JRC委員会によるペットボトルキャップの回収や生活委員会によるロッカーの整理整頓チェックなどの活動が行われており、良い結果の学級を表彰するなど、有用感を高める取り組みを行っている。



## 3 成果と課題

生徒会役員や学級役員、常任委員長などが中心となり、生徒が主体となって取り組む様子が見られた。今後もこの連携を維持していく。今後の課題として、生徒が自主的に参加できる生徒会活動を増やすとともに、目的意識をもって参加できるように生徒会を中心に呼びかけていく。「自分も助川中の一員として役に立っている」という経験ができる場を設け、集団活動における望ましい態度を育成していきたい。